



## News Release

# アニメ制作会社・日本アニメーション創業40周年を記念した企画展 「THE 世界名作劇場展」を東京・池袋で今夏開催！

『フランダースの犬』『あらいぐまラスカル』『赤毛のアン』などを生んだ「アニメのしごと」に迫る

アニメーション制作会社・日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)は、今年創業40周年を迎えました。創業年の1975年から製作された「世界名作劇場」シリーズも40周年を迎えたことを記念し、2015年7月30日(木)～8月18日(火)、東武百貨店 池袋店(東京都豊島区)にて企画展「THE 世界名作劇場展～制作スタジオ・日本アニメーション 40年のしごと～」を開催いたします。

創業時から目指し続ける「世界中の子どもたちと家族に向けた、心を豊かに育むアニメーションづくり」。夢と感動がいっぱいの、心温まる作品を生み出してきた製作過程にスポットを当て、アニメーションの礎を築いた「職人」たちによる、一般初公開となる貴重な制作資料や原画などを展示いたします。映像、立体物なども交え、綿密な世界観づくり、魅力的なキャラクター設定、温かみを感じる作画など、「世界名作劇場」シリーズを中心としたアニメーション製作の舞台裏を公開します。

## 開催概要

## THE 世界名作劇場展

～制作スタジオ・日本アニメーション 40年のしごと～

## ■会期

2015年7月30日(木)～8月18日(火)  
午前10時～午後8時  
(最終日午後5時閉場、入場は各日閉場30分前まで)

## ■会場

東武百貨店 池袋店 8F催事場

## ■主催

(株)フジテレビジョン、(株)東武百貨店

## ■特別協力

日本アニメーション(株)

## ■企画制作

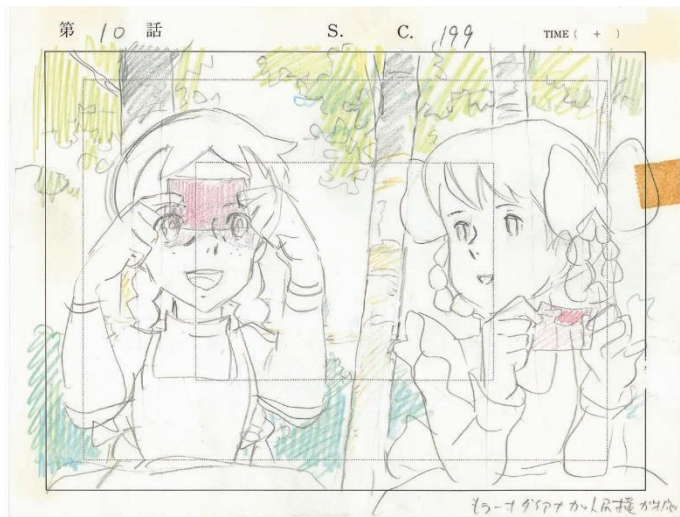
東映(株)

## ■入場料

一般・大学生800円、中・高校生600円、小学生以下無料

## ■お問合せ

東武百貨店 池袋店  
TEL.(代表)03-3981-2211  
ホームページ: <http://www.tobu-dept.jp>



© NIPPON ANIMATION CO., LTD.  
"Anne of Green Gables"™ AGGLA

宮崎駿氏が手掛けた『赤毛のアン』レイアウトのほか、  
一般初公開となる資料等を多数公開

東京会場以降、2年間をかけて全国巡回予定！

帯広藤丸百貨店(北海道)、奥田元宋・小由女美術館(広島)ほか

# 展示の4つの見どころ

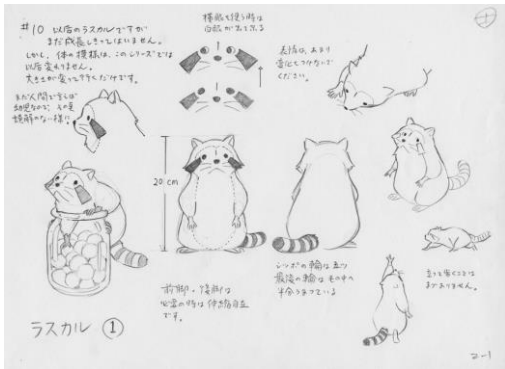
## 1. 「世界名作劇場」シリーズほか キャラクター設定の原画100点(一般初公開)

これまで門外不出とされてきた、アニメづくりの基盤ともいえるキャラクター設定の原画を初公開します。

『フランダースの犬』『母をたずねて三千里』『あらいぐまラスカル』『赤毛のアン』をはじめとした1970年代の作品から、『小公女セーラ』『愛の若草物語』『ロミオの青い空』、そして2009年の『こんにちはアン～Before Green Gables』に続くまで、世代を越えて”感動”を伝えてきた「世界名作劇場」シリーズや、『未来少年コナン』『みつばちマーヤの冒険』など日本アニメーションを代表する作品の数々。登場する魅力的なキャラクターの設定や、物語の人々の生活の様子まで感じとれる美術設定を見ながら、作品の魅力に触れる事ができます。今では貴重なセル画、放送当時の懐かしいグッズなども展示します。



『フランダースの犬』キャラクター設定



『あらいぐまラスカル』キャラクター設定



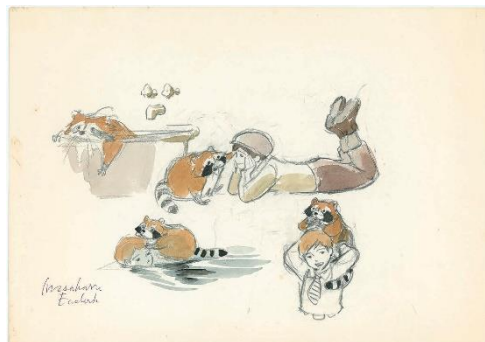
『母をたずねて三千里』セル画(左)・グッズ(右)



## 2. アニメを作る前のアイデアが満載！イメージボードや初期スケッチ

アニメを制作する最初の段階で、その物語の世界観、キャラクターの見た目や性格など、制作スタッフが共有するために描かれたものが「イメージボード」です。これらは監督や作画監督が描くことが多く、企画の初期段階ならではのアイデアが満載で、鉛筆の線から、描き手の温かみを感じる事ができます。今回、貴重なイメージボードも多数展示します。

特に、あの宮崎駿氏・高畑勲氏をはじめ数多くのアニメーター達に影響を与え、「アニメーションの神様」と称される森やすじ氏による『フランダースの犬』『シートン動物記くまの子ジャッキー』『シートン動物記りすのバナー』のイメージボード、『あらいぐまラスカル』『みつばちマーヤの冒険』の監督である遠藤政治(まさはる)氏による初期のラスカルやマーヤのスケッチは必見です。



【左】『フランダースの犬』イメージボード

【右】『あらいぐまラスカル』イメージボード

© NIPPON ANIMATION CO., LTD.

### ■「アニメーションの神様」森やすじ氏とは？

森 康二(もり やすじ 1925年1月28日 - 1992年9月5日) / アニメーター、絵本作家。

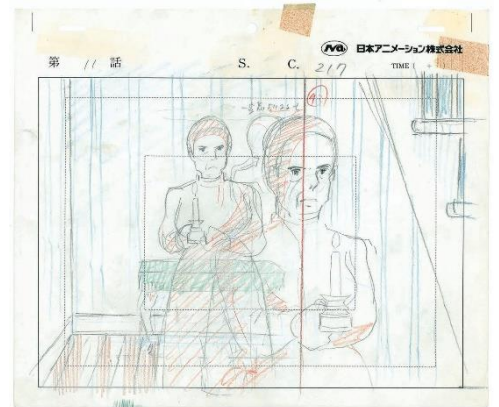
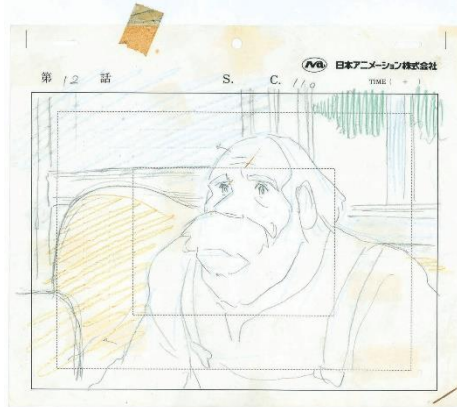
※その他アニメーターのプロフィールがご入用な際にはお問い合わせください

日本における初期の本格的な商業用アニメーションの発足に携わり、指導的な役割を果たした。数々の児童向けアニメーション映画・テレビ番組制作に参画し、日本最初のカラー長編漫画映画『白蛇伝』など、長編漫画映画の製作にも携わる。『太陽の王子 ホルスの大冒険』『長靴をはいた猫』など長・短編アニメ製作を通じて、その後第一線で活躍することになる多くの人材[高畑勲、小田部羊一、宮崎駿、杉井ギサブローなど]を育成。1975年より日本アニメーションでメインスタッフとして携わり、『フランダースの犬』など、TVアニメの創生期に大きく寄与した。

## 展示の4つの見どころ

### 3. 宮崎駿 直筆の『赤毛のアン』レイアウト原画30点(一般初公開)

1974年、高畑勲氏とともに日本アニメーション(※当時は前身のズイヨー映像)に入社し、1978年の『未来少年コナン』で初監督を務めた宮崎駿氏。1979年の「世界名作劇場」第5作目である『赤毛のアン』は、高畑氏が演出・脚本を、場面設定を宮崎氏が担当しました。一般初公開となる当時のレイアウト原画を一挙公開いたします。



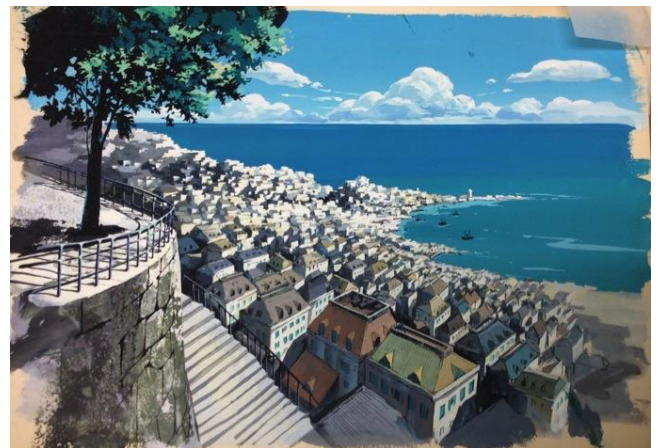
### 4. 空気までも描いた美術監督・井岡雅宏氏、棕尾篁(むくお たかむら)氏による背景美術の世界

アンが成長していくグリーン・ゲイブルズの家、マルコが旅したアルゼンチンのはてしない荒野、フローネが裸足でかけた白い砂浜…。『世界名作劇場』には世界各地の様々な国や地域が登場します。背景美術は景色や風、漂う空気、木々の1本1本、登場人物の生活までも鮮やかな色彩で表現し、数多くの名シーンを支えてきました。

その中でも『赤毛のアン』『ふしぎな島のフローネ』『みつばちマーヤの冒険』などを担当した井岡雅宏氏、『母をたずねて三千里』を担当した棕尾篁(むくお たかむら)氏、『ロミオの青い空』を担当した川口正明氏を中心に、美術監督の背景画を多数展示します。



『赤毛のアン』背景／井岡雅宏



『母をたずねて三千里』背景／棕尾篁

#### 井岡 雅宏(いおか まさひろ)

1941年生まれ、北海道出身。

数々のアニメーションの背景画を描き、美術監督として活躍。

東映動画、ズイヨー映像での経験を経て、1975年より日本アニメーションで「世界名作劇場」を中心に美術監督を務める。

1983年にパンメディアに移籍後、間もなくして体調悪化のため降板。1985年に44歳の若さでこの世を去る。

豊かな色彩感覚に裏打ちされた、絵画的リアリズムが画風の特徴。宮崎駿、高畑勲をはじめ、業界内外でその技術は高く評価されている。

※その他アニメーターのプロフィールがご入用な際にはお問い合わせください

## その他の展示(体験コーナーなど)

●『赤毛のアン』のシーンを完全再現!「アンのお窓」で写真撮影  
グリーンゲイブルズの部屋の窓辺で空想をふくらませるアン。  
アンのお窓を実寸で再現し、記念撮影を楽しんでいただけます。



© NIPPON ANIMATION CO., LTD.  
"Anne of Green Gables"™ AGGLA

●スペシャルシアター

7月4日から公開される映画『シンドバッド 空とぶ姫と秘密の島』の告知映像をはじめ、これまで日本アニメーションが手がけた企業CM、キャンペーン映像などを一挙にご覧いただけます。短尺ながらも温かみのあるストーリーが好評を博した、今では見られない貴重な映像も公開します。

●テレビ25周年を迎えた『ちびまる子ちゃん』のコーナー

●『うっかりペネロペ』の絵本の世界

●展覧会グッズ販売コーナー

本展限定グッズからライセンス商品の先行発売まで、多数販売の予定



© さくらプロダクション / 日本アニメーション



©うっかりペネロペ製作委員会

### 本件に関するお問い合わせ先

■日本アニメーションおよびアニメーション作品について

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当: 弥山(ややま)

電話: 03-3574-6281 携帯: 050-3394-5089 / E-mail: [yayama@nippon-animation.co.jp](mailto:yayama@nippon-animation.co.jp)

■「THE 世界名作劇場展」について

東映株式会社 事業推進部 文化事業室 担当: 今成・佐藤

TEL: 03(3535)7693

E-mail: [yos\\_imanari@toei.co.jp](mailto:yos_imanari@toei.co.jp) / [hir\\_sato@toei.co.jp](mailto:hir_sato@toei.co.jp)

## 【参考資料】日本アニメーション株式会社について

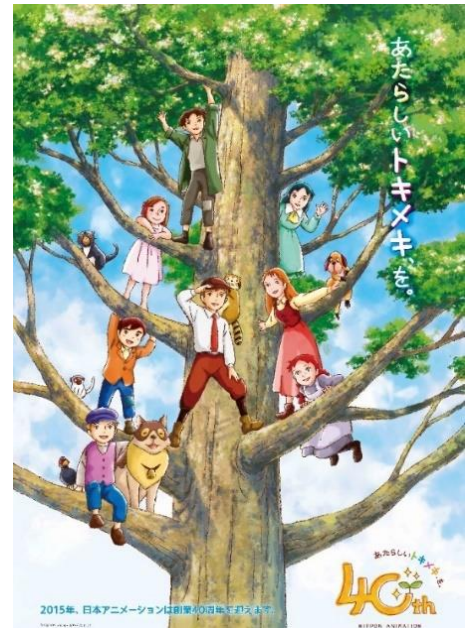
日本アニメーション株式会社は、1975年に創業したアニメーション制作会社です。創業年に代表作「世界名作劇場」シリーズの第1作目である『フランダースの犬』を製作し、2015年、創業40周年とともに「世界名作劇場」シリーズも40周年を迎えました。その他、今年でTVアニメ放送開始25周年を迎えた『ちびまる子ちゃん』など、様々なアニメーションの企画・製作を行っています。

### ■日本アニメーションの「アニメーションづくり」

1975年の創業以来、創業者・本橋浩一が掲げた「人間性の涵養(※かんよう)に寄与するアニメーションづくり」が当社の変らぬ理念です。「涵養」とは、水が自然に染み込むように、ゆっくりと養い育てること。世界中の子どもたちと家族に向けた、人の心を豊かに育むアニメーションづくりを目指し、これまで、これからも、夢と感動がいっぱいの、心温まる作品をお届けしていきます。

鉛筆1本からすべてがはじまるアニメーションづくり。どんなものでも描くことができるアニメーションの可能性は無限です。色、動き、音、声などで登場人物たちに生命が吹き込まれ、まだ見たことがない世界がそこからはじまります。現在、日本アニメーション40周年記念作品として、今夏劇場公開予定の『シンドバッド 空とぶ姫と秘密の島』を制作中です。ご期待ください。

<http://www.nippon-animation.co.jp/>



© NIPPON ANIMATION CO., LTD.  
"Anne of Green Gables"™ AGGLA

## 7月4日(土)公開 日本アニメーション40周年記念作品『シンドバッド 空とぶ姫と秘密の島』

昔から多くの映画やアニメの題材となってきた「アラビアンナイト(千夜一夜物語)」。その「アラビアンナイト」の中でも最も有名な物語のひとつが[シンドバッド]です。

日本アニメーションと『STAND BY ME ドラえもん』で日本中に感動をもたらした白組がタッグを組み、キャラクターデザイン・作画監督には佐藤好春、シリーズ構成にはNHKの『山賊の娘ローニャ』を手掛けた川崎ヒロユキ、監督は『ドラえもん のび太の恐竜2006』を演出した宮下新平という日本を代表するクリエイターが集結し、制作に至りました。

海へ出ることを夢見るシンドバッドには「ワールドトリガー」の主演・空閑遊真で実力をいかに発揮した村中知。ヒロインのサナには「Seventeen」のモデルやドラマなどでも活躍中の女優、田辺桃子が務める。シンドバッドの相棒のアリには永澤菜教、ベテラン船員には宮澤正と名優が脇を固めている。またラザック船長は俳優の鹿賀丈史、シンドバッドの母ラティーファには薬師丸ひろ子とアニメの枠を超えたキャストが集結。さらに主題歌は、GReeeeNがプロデュースし、映画『ストロボ・エッジ』の主題歌「愛唄～since2007～」でデビュー、iTunes/レコチョク他チャート1位を記録したwhiteeeenが担当、作詞/作曲はGReeeeNが書き下ろした楽曲「ポケット」を歌います。



© プロジェクト シンドバッド

### 佐藤 好春(さとう よしはる)

1958年生まれ、神奈川県出身。  
アニメーター・キャラクターデザイナー・作画監督(アートディレクター)。

1979年 日本アニメーション(株)入社。『愛少女ポリアンナ物語』『ロミオの青い空』など、主に「世界名作劇場」シリーズのキャラクターデザイン、作画監督を務める。その後フリーとなり、(株)スタジオジブリなどで様々な作品を手掛ける。2009年の弊社復帰後も多くの作品を生み、日本のアニメ業界の第一線で活躍する。キャラクターの感情表現や日常芝居には特に高い評価を集めている。2015年7月、最新作の映画『シンドバッド 空とぶ姫と秘密の島』公開。

